

1 審議会名	上田左岸地域協議会
2 日時	令和4年12月15日 午後1時30分から3時00分まで
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	赤堀委員、浅川委員、小熊委員、倉島委員、小山委員、清水委員、田中委員、田村委員、富田委員、西入委員、樋口委員、松田委員、宮下委員、安江委員、山岸委員
5 市側出席者	【事務局】滝沢城南地域振興政策幹、間宮塩田地域自治センター長、堀内市民参加・協働推進課長、小宮山塩田地域振興政策幹、片山地域内分権推進担当係長、滝沢地域内分権推進担当主査、城下地域内分権推進担当主査、村山地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年12月19日

協 議 事 項 等

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項

(1) 令和5年度協議会日程について

今年度同様に、城南地域での開催は第3木曜日の午前、塩田・川西地域での開催は第3木曜日の午後に決定

(2) 分科会報告

- ・各副分科会長あいさつ
- ・自治会の現状について

市民参加・協働推進課長から資料を基に説明

(委員)資料を見て、自治会の加入率の低さに驚いた。95%くらいはあるかと思っていた。

別所温泉で地区会長を2年務めたが、仕事が多岐に渡っていて、毎年同じ仕事をこなさなければならず、新しい仕事はできない。大変だから成り手もない。自治会に加入しなくても、何か罰があるわけでもないから、自治会を抜けてしまう人が増えるのは当然である。

資料をたくさんいただいて、大変なところを見せられても意見を集約できないので、県内、国内の市町村関係で上手くいっているところの事例をぜひ提示していただきたい。その中に必ず上田にとっても良いヒントがある。

(委員)加入率について、自治会ではなく、住民票ベースでの総世帯数から自治会に加入している人の割合で、加入率が出ているということでしょうか。自治会が未加入として把握しているのと、住民票ベースでの人数は相当違うと思う。もう少し正確な数の方がわかりやすいのではないかと。

まちづくり協議会で伺ったところでは、下之郷は学生が多いため自治会加入者の割合が低い。自治会では、未加入者としての把握はできないということだった。本当に参考にできるような数値としてお示しいただいた方が現状把握につながる。

(会長)加入率を勘定するのは難しい。私の自治会も棟が別だと2軒とカウントしていて、そうすると自治会費も2軒分取られてしまう。

自治会加入数を把握するのは難しいが、トータルとしては上田市の加入率は高い。

(3)各分科会協議

上田左岸地域の課題について

分科会ごとに分かれて意見交換

【第1分科会：自治・まちづくり】

- ・調査研究テーマについて協議
- ・自治会のあり方について意見交換し、自治会はそれぞれ異なる課題を抱えており、それらを具体的に把握することが必要であることを確認した。

以下、委員からの主な意見

- ・新型コロナウイルスにより地域のつながりが薄れ災害への対応力の低下が懸念される。
- ・自治会の加入者が減少している。
- ・自治会役員のなり手がいない。
- ・自治会に加入することのメリットが理解されていない。

【第2分科会：子育て・福祉・教育】

- ・調査研究テーマについて協議（こどもに関すること、高齢者福祉に関すること、長野大学との連携に関すること）

以下、委員からの主な意見

- ・路線バスの廃止が進むことで、高齢者や子どもの交通手段をどう確保していくか心配している。
- ・近所の方に子どもの相談を聞いてもらい安心できた。地域の人同士で話せる場が少なくなっているように感じる。
- ・子どもが通っている学校で不登校者が増えている。全国的な問題で、先生方も努力しているがなかなか減らない。学校以外で、地域のサポートが必要ではないか。
- ・学校以外なら大丈夫という子もおり、不登校者が集まれる場所があればよい。

<上田市と長野大学との連携状況について>

- ・上田市と長野大学との連携は平成17年に協定が交わされており、連携内容は福祉、教育、地域振興など多岐にわたる。
- ・塩田公民館の活動においても、学生が来て子どもたちと遊んだり、勉強を教えてくれている。
- ・新型コロナウイルスの流行前は、地元の下之郷老人会の文化祭にも学生が参加し交流が図られていた。

<みんなの塩田食堂の状況について>

- ・なぜ塩田公民館だけこども食堂があるのか、他の地域でできないか。
- ・現在、公民館内で飲食ができない（新型コロナウイルス感染予防）ため、お弁当や持ち帰りなどで対応している。
- ・公民館など公的機関の後援があることで、一般の方が参加しやすくなっている。
- ・長野大学の学生や一人暮らしの高齢者の参加もあり、交流の場にもなっている。

【第3分科会：産業・地域振興】

調査研究テーマについて協議

以下、委員からの主な意見

・市内の空き地について、景観を損ねている箇所が見受けられる。協定内容など、市で情報を持っているならいただきたい。

・左岸地域の動脈は国道 143 号線と別所線であるため、それに絡めた取組が重要である。

・第 3 分科会は、産業・地域振興をテーマとしているので、左岸地域に共通な課題について今後議論していきたい。

4 その他

次回の開催予定

日時 1月19(木) 午後1時30分から

場所 川西公民館 大ホール

5 開会